

2 令和2年度の状況

(1)水産物

①取扱高及び収益状況

事項		令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		4,072億7,315万円	4,493億6,813万円	90.63
卸売業務	数量	345,568トン	365,179トン	94.63
	金額	3,395億7,599万円	3,813億1,070万円	89.05
受託物品	数量	68,449トン	79,630トン	85.96
	金額	719億3,979万円	896億3,046万円	80.26
買付物品	数量	277,119トン	285,549トン	97.05
	金額	2,676億3,621万円	2,916億8,025万円	91.76
兼業業務	金額	676億9,716万円	680億5,743万円	99.47
売上総利益		211億869万円	212億8,759万円	99.16
受託販売手数料		39億5,514万円	49億2,756万円	80.27
買付販売利益		130億5,195万円	123億4,055万円	105.76
兼業業務利益		41億161万円	40億1,948万円	102.04
売上総利益率		5.18%	4.74%	
販売費及び一般管理費		202億8,248万円	208億2,310万円	97.40
営業利益		8億2,621万円	4億6,448万円	177.88
営業利益率		0.20%	0.10%	
経常利益		18億5,491万円	16億3,612万円	113.37
経常利益率		0.46%	0.36%	

水産物は、前年度と比較し、減収増益となった。
 総取扱金額は、取扱数量が減少し、販売単価も下落したため、421億円の減収となった。
 売上総利益は、買付販売利益及び兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料が減少したため、2億円の減益となった。
 また、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は4億円の増益、経常利益は、2億円の増益となった。

②財務状況

事項		令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総資産		994億8,912万円	969億5,392万円	102.61
負債		501億5,880万円	504億4,826万円	99.43
純資産		493億3,033万円	465億567万円	106.07
自己資本比率		49.58%	47.97%	
流動比率		164.15%	161.39%	

財務状況は、現金・預金の増加等により総資産が25億円増加した。
 自己資本比率は、純資産が利益剰余金の増加等により28億円増加し、負債が長期借入金
 の減少等により3億円減少した結果、1.6ポイント上昇した。
 流動比率は、流動資産の増加率が流動負債の増加率を上回った結果、2.8ポイント上昇した。

(2) 青果物

① 取扱高及び収益状況

事項		令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		5,373億8,091万円	5,233億9,142万円	102.67
卸売業務	数量	1,883,029トン	1,946,830トン	96.72
	金額	5,134億5,170万円	4,988億9,754万円	102.92
受託物品	数量	1,121,772トン	1,188,652トン	94.37
	金額	3,135億9,823万円	3,118億2,876万円	100.57
買付物品	数量	761,257トン	758,178トン	100.41
	金額	1,998億5,348万円	1,870億6,878万円	106.83
兼業業務	金額	239億2,921万円	244億9,388万円	97.69
売上総利益		373億3,716万円	358億3,347万円	104.20
受託販売手数料		253億6,150万円	252億4,931万円	100.44
買付販売利益		97億831万円	82億7,644万円	117.30
兼業業務利益		22億6,736万円	23億772万円	98.25
売上総利益率		6.95%	6.85%	
販売費及び一般管理費		340億5,936万円	351億570万円	97.02
営業利益		32億7,779万円	7億2,777万円	450.39
営業利益率		0.61%	0.14%	
経常利益		43億1,900万円	12億6,973万円	340.15
経常利益率		0.80%	0.24%	

青果物は、前年度と比較し、増収増益となった。

総取扱金額は、取扱数量が減少したものの、販売単価が上昇したため、140億円の増収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が減少したものの、受託販売手数料、買付販売利益が増加したため、15億円の増益となった。

また、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は26億円の増益、経常利益は、30億円の増益となった。

② 財務状況

事項	令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総資産	715億3,633万円	670億7,337万円	106.65
負債	185億6,389万円	174億8,209万円	106.19
純資産	529億7,244万円	495億9,128万円	106.82
自己資本比率	74.05%	73.94%	
流動比率	340.00%	329.18%	

財務状況は、現金・預金の増加等により、総資産が45億円増加した。

自己資本比率は、純資産が利益剰余金の増加等により34億円増加し、負債が未払税金の増加等により11億円増加した結果、0.1ポイント上昇した。

流動比率は、流動資産の増加率が流動負債の増加率を上回った結果、10.8ポイント上昇した。

(3)花き

①取扱高及び収益状況

事項	令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)	710億8,140万円	766億966万円	92.78
卸売業務			
金額	685億9,850万円	739億1,708万円	92.80
受託物品			
金額	638億791万円	691億3,503万円	92.29
買付物品			
金額	47億9,059万円	47億8,206万円	100.18
兼業業務			
金額	24億8,290万円	26億9,258万円	92.21
売上総利益	68億6,990万円	74億8,767万円	91.75
受託販売手数料	61億4,480万円	66億5,650万円	92.31
買付販売利益	1億6,992万円	2億8,014万円	60.66
兼業業務利益	5億5,518万円	5億5,103万円	100.75
売上総利益率	9.66%	9.77%	
販売費及び一般管理費	70億2,880万円	75億4,383万円	93.17
営業利益	▲1億5,890万円	▲5,616万円	—
営業利益率	▲0.22%	▲0.07%	
経常利益	1億1,782万円	1億1,948万円	98.61
経常利益率	0.17%	0.16%	

花きは、前年度と比較し、減収減益となった。

総取扱金額は、買付物品の売上高は増加したものの、受託物品及び兼業業務の売上高が減少したため、55億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、6億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は減少したものの、営業損失は1億円拡大し、経常利益は、微減となった。

②財務状況

事項	令和2年度	令和元年度	前期比(%)
総資産	195億6,935万円	182億7,482万円	107.08
負債	108億5,775万円	95億3,664万円	113.85
純資産	87億1,160万円	87億3,818万円	99.70
自己資本比率	44.52%	47.82%	
流動比率	170.56%	183.43%	

財務状況は、売掛金の増加等により、総資産は13億円増加した。

自己資本比率は、純資産が微減となり、受託販売未払金の増加等により負債が13億円増加した結果、3.3ポイント下落した。

流動比率は、流動負債の増加率が流動資産の増加率を上回ったため、12.9ポイント下落した。

(4)各部門の比較

項目・取扱品目	水産物	青果物	花き	計
総取扱金額(売上高)	4,072億7,315万円	5,373億8,091万円	710億8,140万円	1兆157億3,546万円
売上総利益	211億869万円	373億3,716万円	68億6,990万円	653億1,575万円
売上総利益率	5.18%	6.95%	9.66%	6.43%
販売費及び一般管理費	202億8,248万円	340億5,936万円	70億2,880万円	613億7,065万円
営業利益	8億2,621万円	32億7,779万円	▲1億5,890万円	39億4,510万円
営業利益率	0.20%	0.61%	▲0.22%	0.39%
経常利益	18億5,491万円	43億1,900万円	1億1,782万円	62億9,173万円
経常利益率	0.46%	0.80%	0.17%	0.62%

※青果物は主たる取扱品目がつけ物・鳥卵である3社を除く。また、食肉を除く。

総取扱金額(売上高)は、青果物が5,374億円と最も大きい。次いで、水産物が4,073億円、花きが711億円となっている。

売上総利益率は、花きが9.66%、青果物が6.95%、水産物が5.18%、と花きが一番高い。

営業利益率は、青果物が0.61%、水産物が0.20%、花きが▲0.22%、と青果物が一番高い。

経常利益率は全取扱品目における営業外収益が営業外費用を上回っていることから、水産物及び青果物が営業利益率に比して高くなり、花きはプラスに転じている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上高から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上高のうちどのくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

3 取扱品目別販売単価の推移(消費税込み)

単位:円

取扱品目	2年度	元年度	30年度	
水産物	1,068	1,129	1,147	
青果物	野菜	251	236	246
	果実	462	433	433
花き	切花	67	66	67
	鉢物	607	584	565

4 利益率の推移

単位:%

取扱品目	水産物		青果物		花き	
	営業	経常	営業	経常	営業	経常
2年度	0.20	0.46	0.61	0.80	▲0.22	0.17
元年度	0.10	0.36	0.14	0.24	▲0.07	0.16
30年度	0.14	0.36	0.02	0.15	0.11	0.25

注1 市場統計情報の部類別平均価格による

2 水産、青果の販売単価は1kgあたり

3 花き販売単価は切花は本、鉢物は鉢あたり